

令和 6 年 6 月 14 日現在

機関番号：14501

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2019～2023

課題番号：19K00320

研究課題名（和文）戦争と革命の20世紀を生きる表現者たち 左派社会運動と文学運動の交錯

研究課題名（英文）Expressionists in the 20th Century of War and Revolution

研究代表者

黒川 伊織（KUROKAWA, IORI）

神戸大学・国際文化学研究科・協力研究員

研究者番号：50611638

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 1,600,000円

研究成果の概要（和文）：本研究では、20世紀日本で展開された左派社会運動の重要な一環をなした文学運動が担った役割に着目して、サークル誌・同人誌をも含む多様な表現から運動を担った人びとの「生きられた運動経験」を読み取ることで、運動を担った「個」の主体性に着目した左派社会運動史／文学運動史の構築を目指した。とくに、東アジアの物流・人流の拠点であった神戸で多様な民族構成の人びとを担い手としつつ展開された文学運動の経験にとくに着目することで、左派社会運動／文学運動が東アジアへと越境する想像力／創造力を生み出していく思想的脈絡についても明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

左派社会運動に関する近年の研究成果の多くが、主として社会学研究者を担い手とする戦後期に集中している一方、歴史学研究者が担ってきた戦前期を対象とする研究は減少の一途をたどっている。このような制約のもと、戦前／戦後の左派社会運動の経験がそれぞれ独立した経験として扱われる傾向が強くなっていった。20世紀全体を対象とした本研究は、一貫した視点のもと戦前／戦後の左派社会運動の経験を通時的に把握することを実現した。また、本研究では、党派や組織の方針書の分析だけでは理解できない、運動を担った個々の多様な経験をすくい上げたことで、より人びとの実感に近い社会運動史を描き出すことができた。

研究成果の概要（英文）：This study focuses on the role played by the literary movement, which was an important part of the leftist social movement that developed in 20th century Japan, and aims to construct a history of the leftist social movement/literary movement that focuses on the subjectivity of the “individuals” who took part in the movement by reading the “lived experiences of the movement” of the people who took part in the movement through various expressions including circle magazines and dojinshi. In particular, I aimed to construct a history of logistics and people's movements in East Asia. In particular, by focusing on the experience of the literary movement that developed in Kobe, a hub of distribution and human flow in East Asia, with a diverse ethnic composition of people as its bearers, we have clarified the ideological context in which the leftist social and literary movements generated “imagination and creativity” that crossed the border into East Asia.

研究分野：社会運動史

キーワード：平和運動 戦後文化運動 労働運動 日本共産党 朝鮮戦争 ベトナム戦争 大学闘争 市民運動

## 1. 研究開始当初の背景

本研究の学術的背景は3つある。近年における1950年代サークル文化運動/文学運動研究の興隆(たとえば宇野田尚哉・川口隆行・坂口博・鳥羽耕史・中谷いづみ・道場親信編『「サークルの時代」を読む 戦後文化運動研究への招待』影書房、2016年) 近年における1960年代後半の社会運動の高揚に関する研究の興隆(たとえば国立歴史民俗博物館編『企画展示「1968年」 無数の問いの噴出の時代』、2017年) 研究代表者が取り組んできたロシア革命以後の日本における左派社会運動の展開に関する研究である。

研究代表者は、上記の研究動向を牽引してきた2つの研究グループ(戦後文化運動合同研究会と国立歴史民俗博物館共同研究「「1968年」社会運動の資料と展示に関する総合的研究」)の中核のメンバーであり、前掲『「サークルの時代」を読む』には第2章「東アジアの「熱戦」とサークル運動 朝鮮戦争下の抵抗の経験」を寄稿しているし、前掲『企画展示「1968年」無数の問いの噴出の時代』では第1部第2章「地方都市から戦後社会を問う 神戸の街から」を担当している。

研究代表者自身が修士論文・博士論文以来長らく取り組んでおり高く評価されているの研究(「1920年代日本思想史と第一次国共合作」『日本思想史学』46号、2014年、『帝国に抗する社会運動 第一次日本共産党の思想と運動』有志舎、2014年)と、上記の研究動向が交差したところで構想されたのが、本研究である。

## 2. 研究の目的

本研究の目的は、1868年の開港とともに東アジアの物流・人流の拠点として多様な民族構成のもと日本資本主義の発展を支え、労働運動揺籃の地となった神戸で展開された文学運動の経験に一貫して焦点を当て、戦争と革命の下にあった20世紀の東アジアで平和や平等を掲げた人びとによる抵抗の経験を、生きられた運動経験として通時的かつ同時代史的に叙述することで、その歴史的意義を明らかにすることにある。

その叙述の視点として、本研究ではサークル文化運動/文学運動の展開に着目する。サークル文化運動/文学運動は党派や組織の論理から相対的に自立した社会的結集の場として機能し、しかも大衆団体としてさまざまな抑圧をくぐり抜けつつ持続的に運動を続けることが可能な場であったうえ、さまざまな表現によって同時代の経験を現在に伝える役割を果たしているからである。

## 3. 研究の方法

本研究が主として依拠する史資料は、神戸の詩人・文化活動家として知られた直原弘道氏(1930-2017年)が所蔵していた文学雑誌・サークル誌・同人誌をはじめ、政治運動・労働運動・学生運動など各運動内部の議事録や文書類、地域で刊行されたミニコミなどである。



### 直原氏の史料(一部)

ご自身がテーマ別にすべて製本して保存されていた

さらに、2019年に東大阪市の市民運動家である和田喜太郎氏(1930-2012年)の自宅に残されていた段ボール45箱におよぶミニコミ誌や史料をご遺族より引き取った。

これら史資料の分析方法であるが、地域の文学雑誌・サークル誌・同人誌については、歴史研究の文脈では運動が生み出した副次物として捉えられてきた一方、文学研究の文脈では作品としての完成度や文学的表現のあり方を問われてきた。これら無名の人びとの文学作品を、歴史を証言する表現として定義し、そのような表現の到達と限界をも問おうとした。

さらに、多くの関係者からの聞き取りを重ねて、その聞き取りのなかで明らかとなった事実については、当時の新聞記事などを頼りに実証的な事実確認を行った。

## 和田氏旧蔵史料（整理前、計45箱）



## 宮田有香氏による史料構造の整理（一部抜粋）

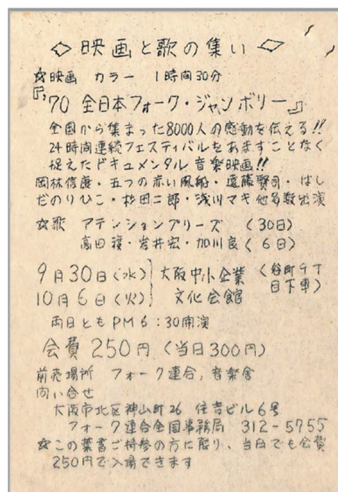
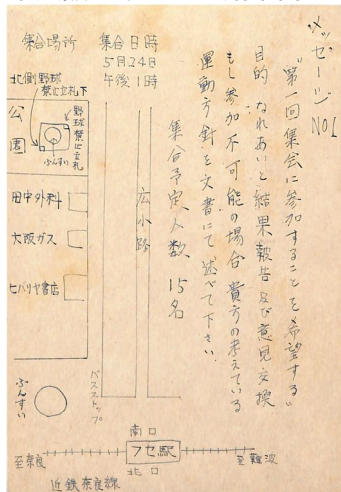
仮箱番号	箱書き	箱内袋番号	作業メモ	袋底・扉書き [入力者使用記号：副題 / 発行 ■読み取れず (?不正確)]	番号	袋表書き [入力者使用記号：副題 / 発行 ■読み取れず (?不正確)]
01	ベ平連 HOB、雑兵、緑会、脱走兵	01		脱走兵：ベトナム戦脱走兵 / 日本人脱走兵 清水君	1	ベトナム戦脱走兵 アサヒグラフほかより / 中野ベ平連と清水徹雄
01	ベ平連 HOB、雑兵、緑会、脱走兵	02		八尾基地	1	反戦委とベ平連 / 共産系～
01	ベ平連 HOB、雑兵、緑会、脱走兵	03		脱走兵：ベトナムと海岸戦後の拒否	2	自作資料 小谷 / 「隣の脱走兵」一掃ってきた脱走兵 / ベトナム戦后：反戦法廷 / 海岸戦と兵役拒否 / 兵役拒否
02	押入上(ミニコミ)+α / ㄐ	01	外袋要清掃	モ	1	リブ「やみのなから」No.2「あじやらめ」No.1-5「開リブ通信」「Kさん支援ニュース」「ジヨカイ」
02	押入上(ミニコミ)+α / ㄐ	02	外袋要清掃	モ	2	未確認
02	押入上(ミニコミ)+α / ㄐ	03	外袋要清掃	モ	3	未確認
02	押入上(ミニコミ)+α / ㄐ	04	外袋要清掃	モ	4	未確認
02	押入上(ミニコミ)+α / ㄐ	05	外袋要清掃	モ	5	未確認
02	押入上(ミニコミ)+α / ㄐ	06	外袋要清掃	モ	6	未確認
02	押入上(ミニコミ)+α / ㄐ	07	外袋要清掃	モ	7	未確認
02	押入上(ミニコミ)+α / ㄐ	08	外袋要清掃	モ	8	未確認
02	押入上(ミニコミ)+α / ㄐ	09		三里塚	[ナン]	
02	押入上(ミニコミ)+α / ㄐ	10		反空港・泉州	[ナン]	
02	押入上(ミニコミ)+α / ㄐ	11		反空港・泉州	[ナン]	
03	「派兵チェック」/ 反民懸 / イラク派兵	01		派兵チェック：1～80	1	副刊1号 92.10～40(96.10)、次37、41～96.2/80～99.5
03	「派兵チェック」/ 反民懸 / イラク派兵	02		派兵チェック：121～196	3	[ナン]
03	「派兵チェック」/ 反民懸 / イラク派兵	03		派兵チェック：81～120	2	[ナン]
03	「派兵チェック」/ 反民懸 / イラク派兵	04		イラク開西(訴状・判決)	[ナン]	イラク開西 訴状と判決
03	「派兵チェック」/ 反民懸 / イラク派兵	05		反民懸関係：「反民懸ニュース」ほか	1	1名簿 / 2手紙その他 / 3「反民懸ニュース」73-80
04	平和訴訟	01		関西平和訴訟一書 冊子	1	準備書面案1～9面まで / 法廷意思陳述集(一) / 第10最終書面 / 洗井基文・讀書=14面 / 井上清・古川佳子讀書=16めん / 判決文 / 横原・足立尋問 / 各都2部保存 '08.5
04	平和訴訟	02		関西平和と提出書証：著名人証言 冊子	2	78号証：松井他 / 78号証：金子正史他 / 平和訴訟・証言集① / 78号証のうち82号 / 山内海文 / 各都2部保存 '08.5
04	平和訴訟	03		関西平和(予)原告陳述、原告録取バラ	B	法廷、提出、録取
04	平和訴訟	04		関西平和(予)一書書面バラ	A	訴状、判決、被告 重複あり
04	平和訴訟	05		平和訴訟・通信ほか	[ナン]	[ナン]
05	2F奥	01		自衛隊の犯罪(ストック)	[ナン]	[ナン]
05	2F奥	02		白保の会：88～91	[ナン]	非■・白保空港
05	2F奥	03		日韓問題 / 戦争責任	[ナン]	神戸・兵庫 バラは=裁判
05	2F奥	04		反戦市民社	[ナン]	[ナン]
05	2F奥	05		みのお：政■分離訴訟	[ナン]	[ナン]
05	2F奥	06		「ふえみん」その他   2000年まで	[ナン]	[ナン]
06	押入上(ミニコミ)+α : ㄐ	01	外袋要清掃	ヒ	1	上田後援会「いのくら」「中企連」/ 狭山映面上映関係 / 「同対審共斗」/ 東大阪同対審共斗準備室 / 狭山斗争ピラ / 松原パークレーン事件 / 大阪府同和問題発行物 / 関べ「抱」? 返もの / 公開質問 / 解放研ピラ
06	押入上(ミニコミ)+α : ㄐ	02	外袋要清掃	ヒ	2	現代社会文化研究所：「状態通信」「民家」市民スクール、民家まつり、民家■ / 差別と闘う文化会議「かいほう」
06	押入上(ミニコミ)+α : ㄐ	03	外袋要清掃	ヒ	3	障害者斗争関係ピラ「全障連」「全障研」/ 「被差別共斗会議」/ 広田さんを支援する会
06	押入上(ミニコミ)+α : ㄐ	04	外袋要清掃	ヒ	4	底辺、反弾圧：釜ヶ崎 / 関西・東京救済センター「通信」/ 6.28反弾圧集会資料 / 「弾圧をはねかえせ！」パンフ / 反弾圧連帯ニュース / アジア反日職團関係
06	押入上(ミニコミ)+α : ㄐ	05	外袋要清掃	ヒ	5	(沖縄)：松永裁判支援する会、全国、大阪 / 沖縄支援ニュース / 松永さんを支援する会ニュース、全国、大阪、公判パンフレット / あくまで沖縄にこだわりつつける会資料
07	日本原 / 三里塚 / ビースネットニュース / キャッチピース / 即大連憲訴訟 / 千葉正健しのぶ	01		キャッチピース(ヨコスカ・熊本 他)	[ナン]	[ナン]
07	日本原 / 三里塚 / ビースネットニュース / キャッチピース / 即大連憲訴訟 / 千葉正健しのぶ	02		日本原：馬天機通信(21777～(89)80 / 集案案内その他	[ナン]	「馬天機通信」22号～89号 / 「反国」? 日本原 12号～13号 / 集案案内など / * / パンフは別
07	日本原 / 三里塚 / ビースネットニュース / キャッチピース / 即大連憲訴訟 / 千葉正健しのぶ	03		日本原 / パンフ：②77.10月～③85.2月	[ナン]	[ナン]
07	日本原 / 三里塚 / ビースネットニュース / キャッチピース / 即大連憲訴訟 / 千葉正健しのぶ	04		三里塚 / パンフ	[ナン]	三里塚 / パンフ
07	日本原 / 三里塚 / ビースネットニュース / キャッチピース / 即大連憲訴訟 / 千葉正健しのぶ	05		千葉正健君	[ナン]	千葉正健君
07	日本原 / 三里塚 / ビースネットニュース / キャッチピース / 即大連憲訴訟 / 千葉正健しのぶ	06		ビースネットニュース：37(91.3)～126(98.9)	[ナン]	ビースネットニュース：37号(91.3)～126号(98.9)
07	日本原 / 三里塚 / ビースネットニュース / キャッチピース / 即大連憲訴訟 / 千葉正健しのぶ	07		即大連憲訴訟：訴訟の経過関連資料 90.9月～95.3月	[ナン]	一書、控訴の経過 / 大審? 控訴 / 訴訟回ニュース：'90.9.21=987人提訴 / '92.11月=一審判決 / '95.3.9控訴判決で終了





さらに、一部の資料に関しては、デジタル撮影も実施した。

### 東大阪ベ平連の連絡葉書 “フォークジャンボリー” ドキュメンタリー開催案内



本研究の第2年度となる2020年よりコロナ禍が本格化し、高齢の運動当事者からの聞き取りが困難になった。そのため、以前に実施したインタビューの内容を裏付ける史資料の探索に舵を切った。とくに生前の直原氏に行ったインタビューの内容と、直原氏より託された史料の紐付けが想像以上に進捗したことで、これまであまり深めることができなかった共産党の文化運動の方針とサークル活動家の反発、あるいは1950年代後半の神戸大学における学生運動の展開などについて実証的に整理できた。これにより、4でふれる刊行予定の単著の内容をより深めることができた。

#### 4. 研究成果

本研究は、歴史研究とアーカイブズ学をまたぐかたちで実施された。まず、前者については、戦前・戦中・戦後にかけての反戦平和運動の人的・思想的連続面に目を向け、朝鮮戦争・ベトナム戦争においてアメリカ軍が接収・利用した神戸港を核とした人的ネットワークのひろがりに着目し、神戸で展開された文化運動が社会的結集の場として機能するなかで、朝鮮戦争・ベトナム戦争に対する反戦運動が、世代をこえた人びとを担い手として続き、今なおウクライナやガザの停戦を呼びかける運動が続いていることを明らかにした。神戸市民による対抗文化の歴史を描き出した本研究に加え、和田喜太郎氏・杉本昭典氏ら神戸の運動に関わりを持ちつつ独自の運動を担った人びとに関する論文や回想録を1冊の単著にまとめる作業を現在進めており、京都の小さき社様より2025年中の出版を目指して打ち合わせを重ねている。

後者については、3で具体的に説明したように、とくに和田喜太郎氏旧蔵のミニコミ誌や史料の総体・構造を、アーキビストである宮田有香氏に整理・分析していただいた。そのうえで、研究代表者自身が史料を確認し、大学院生を雇用して史料の目録作成を進めている。散逸しがちな現代史の一次史料をいかにしてアーカイブし、公開を進めるかについては、研究代表者が司書・アーキビストとして勤務している大阪産業労働資料館(エル・ライブラリー)で検討中である。具体的には、当館で試験的に運用しているAccess to Memory (AtoM)を利用して、web上で資料のツリー構造を明らかにし、ここから大学院生が作成した目録にアクセスできるよう設定する予定である。また、撮影が終わった史料に関しては、著作権法に抵触しない限り、目録から画像に飛べるように設定したいと考えている。

現代史の研究において、党派や組織の機関紙誌類や議事録を利用することは、もはや当然となりつつあるが、本研究では、党派や組織のなかの個人、あるいは党派や組織に属さない個人がそれぞれ守ってきた史資料が持つ歴史的価値の大きさに、驚くばかりであった。本研究課題を通じて、阪神間で活動を続けてきた多くの人びとと縁を結ぶことができた。今後は、その縁を大切にしながら、本研究課題とは地続きにある新たな研究課題(基盤研究C課題番号23K00794「日本構造改革派の軌跡」2023~2026年度)に取り組んでいくこととしたい。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計11件（うち査読付論文 5件 / うち国際共著 2件 / うちオープンアクセス 3件）

1. 著者名 黒川伊織	4. 巻 68
2. 論文標題 1950年代サークル運動論再考－高木宏夫『日本の新興宗教』を手がかりとして	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 唯物論と現代	6. 最初と最後の頁 29-45
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 黒川伊織	4. 巻 3591
2. 論文標題 書評 日本の「もうひとつの」戦争－メディア史の観点から日本現代史研究に新たな視座を提示する 崔銀姫編著『東アジアと朝鮮戦争70年』	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 図書新聞	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 黒川伊織	4. 巻 727
2. 論文標題 高津正道と 東洋インタナショナル 帝国日本と中国（2022年度日本史研究会大会近現代史部会「1920年代の社会運動 東アジアの国際関係を軸に」大会報告）	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 日本史研究	6. 最初と最後の頁 158-185
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒川伊織	4. 巻 96
2. 論文標題 アジアにおけるコミュニズム 日本共産党の100年 / 101年を考察する視点	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 唯物論研究	6. 最初と最後の頁 70-84
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒川伊織	4. 巻 57
2. 論文標題 書評 木村政樹著『革命的知識人の群像 近代日本の文芸批評と社会主義』	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 社会文学	6. 最初と最後の頁 105-107
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒川伊織	4. 巻 174
2. 論文標題 「無産」から「革新」へ：1920 - 70年代大阪における政治運動と労働運動	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 関西大学経済・政治研究所研究双書	6. 最初と最後の頁 67-113
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32286/00026265	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 黒川伊織	4. 巻 26
2. 論文標題 戦後大阪の革新勢力：1960年代を中心に	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 年報日本現代史	6. 最初と最後の頁 11-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒川伊織	4. 巻 741
2. 論文標題 社会運動 / 社会運動史研究の120年	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 大原社会問題研究所雑誌	6. 最初と最後の頁 1-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 黒川伊織	4. 巻 741
2. 論文標題 渡部徹の歴史学 関西・社会運動史研究史序説	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 大原社会問題研究所雑誌	6. 最初と最後の頁 24-39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 黒川伊織	4. 巻 989
2. 論文標題 反戦平和運動における抵抗と文化 / 抵抗の文化 神戸港から見た世界	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 歴史学研究	6. 最初と最後の頁 152-161
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒川伊織	4. 巻 171
2. 論文標題 大阪のベトナム反戦運動 労働運動と市民運動の交点で	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 研究双書 (関西大学経済・政治研究所)	6. 最初と最後の頁 131-159
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計5件 (うち招待講演 4件 / うち国際学会 0件)

1. 発表者名 黒川伊織
2. 発表標題 高津正道と 東洋インタナショナル 帝国日本と中国」2022年度日本史研究会大会近現代史部会「1920年代の社会運動 東アジアの国際関係を軸に」
3. 学会等名 2022年度日本史研究会大会 (招待講演)
4. 発表年 2022年



1. 発表者名 黒川伊織
2. 発表標題 梅森直之氏、田中ひかる氏への応答（黒川伊織著『戦争・革命の東アジアと日本のコミュニスト 1920-1970年』合評会）
3. 学会等名 歴史学研究会現代史部会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 黒川伊織
2. 発表標題 「雨の降る品川駅」の同時代史
3. 学会等名 日本社会文学会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 黒川伊織
2. 発表標題 反戦平和運動における抵抗と文化 / 抵抗の文化 神戸港から見た世界
3. 学会等名 2019年歴史学研究会大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 黒川伊織
2. 発表標題 戦後日本の科学者運動と原子力 原子核物理学者・水戸巖の足跡に視点を据えて
3. 学会等名 同時代史学会2019年度大会
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計4件

1. 著者名 岩城 卓二、上島 享、河西 秀哉、塩出 浩之、谷川 穰、告井 幸男	4. 発行年 2022年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 388
3. 書名 論点・日本史学	

1. 著者名 山口 輝臣、福家 崇洋	4. 発行年 2022年
2. 出版社 筑摩書房	5. 総ページ数 320
3. 書名 思想史講義【大正篇】	

1. 著者名 山口 輝臣、福家 崇洋	4. 発行年 2022年
2. 出版社 筑摩書房	5. 総ページ数 336
3. 書名 思想史講義【戦前昭和篇】	

1. 著者名 黒川伊織	4. 発行年 2020年
2. 出版社 有志舎	5. 総ページ数 370
3. 書名 戦争・革命の東アジアと日本のコミュニスト 1920～70年	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------